



できる若者は3年で辞める！ 伸びる会社はできる人よりネクストリーダーを育てる

久野康成公認会計士・税理士 著

近年では、新卒採用者の3人にひとりが3年以内に離職するといわれている。そのため、「どうせ長くないのだから」と社員教育に閉塞感を感じてしまう向きも少なくない。

「できる若者は3年で辞める！ 伸びる会社はできる人よりネクストリーダーを育てる」(写真、出版文化社)の著者である久野康成公認会計士・税理士は、(株)人財開発を設立し、コンサルタント育成に努めている。会計事務所で培ってきたノウハウを生かした研修として好評を博しているところだ。人材の育成に関するスペシャリストといえる。

著者は、社員が早期に退職する理由、転職する現象を突き詰めて、新たに『転職時代』のマネジメントを考える必要性を説く。とはいっても、変わり続ける社会状況によって、社員のモチベーションを長く維持させることは難しい。だからこそ、「新たな価値観」や「哲学形成」のサポートが必要だという。

本書は管理職が育たないことを嘆く顧問先に勧めてもよいし、自らの事務所の離職率が高い場合にも参考になる。

また、転職を繰り返す若者が陥りやすい問題なども指摘。会社に対する不平・不満が出るスキームやその背景を分析する。たとえば、勢いで会社を飛び出した若者は、「自分にも問題がある」と気付かない限り、転職が繰り返されると解説している。職員に新しい生き方や働き方に関する“気付き”を与えるにも適した一冊。定価1500円（税別）。

